

令和4年度 第4回
大府市都市計画審議会 要点記録

令和5年2月28日

令和4年度第4回 大府市都市計画審議会

1 日時及び場所 令和5年2月28日(火) 午後2時から
於 市役所 5階 全員協議会室

2 出席した委員 12名

会長: 深谷洋二

小池 則 満	前 田 博 子	稲 葉 き み 子	久 野 一 弘
早 川 元 博	加 古 守	鷹 羽 琴 美	小 山 昌 子
木 下 久 子	近 藤 伸 一	深 谷 多 恵 子	

3 欠席した委員 0名

4 事務局 6名

伊藤宏和 都市整備部長	松浦元彦 都市整備部担当部長
福島智宏 都市政策課長	神田昌則 計画地域交通係長
小林慎之介 計画地域交通係主事	満園泰成 計画地域交通係技師

5 傍聴者

2名

6 議 事

議案第1号 知多都市計画生産緑地地区の変更(大府市決定)について
諮問第1号 大府市立地適正化計画の策定について

1. 開会のことば

2. 会長あいさつ

深谷会長からあいさつがあったもの。

3. 出席確認

委員総数 12名のうち出席委員 12名で大府市都市計画審議会条例(以下「条例」という。)第6条第2項に基づき、委員総数の2分の1以上が出席のため、会議成立の報告を行ったもの。

4. 資料確認

(1) 大府市都市計画審議会 次第

大府市都市計画審議会委員名簿

大府市都市計画審議会条例、大府市都市計画審議会運営要綱

(2) 資料 1 令和4年度第4回大府市都市計画審議会 議案第1号

(3) 資料 2-1 大府市立地適正化計画の策定について(諮問)

(4) 資料 2-2 大府市立地適正化計画(案)

(5) 資料 2-3 大府市立地適正化計画概要版(案)

(6) 資料 2-4 パブリックコメント実施結果

5. 議事【次第2】(議案第1号)

「議案第1号 知多都市計画生産緑地地区の変更(大府市決定)について」を事務局から説明を行い、質疑なく、原案のとおり可決されたもの。

6. 議事【次第2】(諮問第1号)

「諮問第1号 大府市立地適正化計画の策定について」を事務局から説明を行い、以下の質疑応答を経て、原案のとおり可決されたもの。

【質疑応答】

質疑：昼間に働く従業員の安全確保が必要とあるが、事業者との具体的な連携はどのようになっているのか。

応答：大府市防災ガイドブックを配布し、従業員が避難できるよう周知を図るとともに、地域の避難訓練にも参加を促している。

質疑：高齢者の避難に係る地域での見守り制度などのソフト支援の取組について情報発信をどのように行っているのか。

応答：要配慮者の支援制度について、自治区と行政がお互いに情報共有するとともに、訓練時には、互助・共助により避難できるように発信している。

質疑：公共交通の充実を図るのに、どのようなことを考えているのか。

応答：来年度の10月には、中央コースの1台増車や東コースの長寿医療センターへの乗り入れ(2便/日)を行う予定をしている。

質疑：循環バスの利用者は、どのくらいいるのか。

応答：平成 30 年度に年間約 19 万 7 千人の利用があり、過去最高を記録した。新型コロナウイルス感染症の影響を受け、令和 2 年度には、13 万人台まで落ち込んだが、本年度は、16 万人まで回復する見込みである。

質疑：誘導方針のイメージ図について、10 年後以降に高齢者の方に転居してください、という意味であるように見える。この考え方について、早めに周知しておく必要があるが、どのような周知を考えているか。

応答：決して、転居を義務付けるものではなく、これからの人口動向を見据えて、よりコンパクトな利便性の高いまちづくりを進めていく中で、住み替えを誘導していくものである。

まちづくりについて、一貫性や方向性といった点でご理解とご認識いただき、進めていく必要があるため、4 月 1 日の計画書の公表に合わせて届出制度が開始されることを考慮し、もうすでに市公式ウェブサイトに公開しており、事業者に対しても、説明・周知を図っている。

質疑：居住誘導区域の内外で土地の価格に差が生じるという認識でよいか。

応答：価格に差は生じることになる。

以上